

若手からシニアまで

オール大阪で地域団体を応援する新企画

大阪 ええまち プロジェクト



大交流会

2018年 2月 28日 (水) 15:30 ~ 20:30

マイドームおおさか 〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5
(各線「堺筋本町」駅「北浜」駅など)

参加
無料

要事前
申込

※1部、2部のみ
懇親会は会費制

定員 250名

※先着順、定員に達し次第締め切らせていただきます
※分科会の定員は会場により異なります。

対象

地域福祉の活動に取り組む NPO・地域団体の方
地域貢献活動に関心を持つ企業・団体・個人の方
社会福祉協議会・行政関係者・生活支援コーディネーター



いくつになっても誰もが住み慣れたその土地に心地よく暮らしつづけられる“ええまちづくり”に向けて、大阪府内で「移動支援」「居場所づくり」「認知症対応」「介護予防」「高齢者の社会参加」などに積極的に取り組む地域団体が集い、活動の始め方、進め方を共有していきます。

大阪府内で活躍するさまざまな地域活動団体、各地の生活支援コーディネーター、行政担当者、アクティブシニア、企業人など多様な皆さまが一堂に集う大交流会。大阪のええまちづくりにご関心のある方、全ての皆さまのご参加をお待ちしています。

▼ 第1部 大阪ええまち
プロジェクト総括

▼ 第2部 テーマ別分科会

▼ 第3部 懇親会 (希望者のみ)
参加費：1,000円



詳細・タイムテーブルは
裏面をご覧ください

ゲスト

落語家
笑福亭学光さん

企画：

 SERVICE
GRANT
認定NPO法人サービスグラント



大阪ええまち
プロジェクト

大交流会

タイムテーブル

第1部

15:30
▼
17:00
ホールE

大阪ええまちプロジェクト総括 — 住民主体の互助を生み出す取組み紹介 —



- 大阪ええまちプロジェクトの紹介
- 取組み事例の報告
- パネルディスカッション
ゲスト：翁川由希氏(さわやか福祉財団)
勝部麗子氏(豊中市社会福祉協議会)
三和清明氏(NPO法人寝屋川あいの会)
- 落語家 笑福亭学光さんによる落語

第2部

17:15
▼
18:45

地域課題・テーマ別分科会

多様なテーマのもと、先進団体等が登壇。
活動の現状や課題について共有、議論します。

分科会 1

地域で支える、 高齢者の移動支援



NPO法人、自治会、行政など、異なる主体による移動支援の立上げ、運営の現状や課題を話します。

分科会 2

居場所づくりの挑戦、 その手応えと課題



地域交流拠点となるコミュニティカフェの立上げノウハウや安定的な運営への現状や課題を話します。

分科会 3

要介護・認知症の人を 受容できる地域づくり



要介護になっても、認知症になってもお互いに見守りあえる地域づくりの知恵・工夫を話し合います。

分科会 4

高齢者の社会参加、 出番づくり



いくつになっても学び続ける意欲的な高齢者が活躍できる活動の工夫や活性化のヒントを話します。

分科会 5

在宅での暮らしを どう支えるか



住み慣れた在宅での暮らしを多面的に支える団体同士が、現在の挑戦と課題について共有します。

▼ ご案内 ▼

- ・ 会場は、ホールE、会議室1、2、3、6で開催予定です。事前のご登録人数などの調整により分科会開催の会場は当日会場にてご確認ください。
- ・ 分科会の内容は予告なく変更になる可能性があります。

第3部 - 20:30

懇親会 (希望者のみ) ※参加者同士の交流の場です。どなたでも参加可能です。(参加費:1,000円)

「大阪ええまちプロジェクト」は、団塊世代が後期高齢者となる「2025年問題」を見据え、住民主体の「介護予防」「生活支援」「社会参加」に取り組む地域団体を若手からシニアまでオール大阪で応援する取組みです。NPOや地域団体の運営上の課題に具体的な成果物を提供するプロジェクト型支援と経験豊富な先輩団体がアドバイスする随時個別相談の2つを柱に実施しました。

2017年度は、延べ78名のプロボノワーカー(※1)が17団体を応援するほか、社会福祉協議会など4団体が随時相談に応じています。

※1 プロボノワーカー：仕事で培った経験・スキルを活かして社会課題の解決に成果を生み出すボランティア

参加申込方法

下記ホームページにアクセスの上、
本イベントのページからお申込みください。

<http://eemachi.pref.osaka.lg.jp/>

大阪ええまち



検索



▼ お問い合わせ ▼

「大阪ええまちプロジェクト」事務局

認定NPO法人 サービスグラント

Tel: 06-6210-4832

Email: osaka@servicegrant.or.jp



※このイベントは、「新しい総合事業（「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」の着実な実施）を目的とした事業の一環として開催します。